

# コロナ禍における子どもの 貧困と孤立の現状と課題

すべての子どもたちへの支援拡充と  
困難を抱える子どもたちへのより手厚い支援を

子どもの貧困対策センター  
公益財団法人 あすのば  
代表理事 小河光治

# 当事者の学生の運動で「子どもの貧困対策法」制定へ

- 2009年10月、厚生労働省は、初めて「子どもの貧困率」を発表
- 当時のあしなが育英会の奨学生は、この14.2%という数字の高さに驚きと危機感
- 同年12月「第21回遺児と母親の全国大会」で、「子どもの貧困対策法の制定」提唱
- 2013年3月、緊急院内集会を開催 5月、市民集会・パレード実施
- 2013年6月19日、「子ども貧困対策法」が全会一致で可決・成立

2013年(平成25年)6月20日 木曜日 享月 日 業斤 辰日

## 天声人語

英の文豪モームの長編『人間の絆』は、一人の青年の成長と遍歴の物語である。作家は、登場人物にこんな言葉を吐かせている。「そこそこの収入がなければ、人生の半分の可能性とは

縁が切れる」(行方昭夫訳)。貧乏は人に屈辱をなめさせ、いわば翼をもぎ取ってしまう、と▼その言葉を日本の子どもたちにも重ねてみたい。子ども時代の貧困が可能性を狭めてしまうのは、各種の調査で明らかだ。この国では今、18歳未満の7人に1人が「貧困」とされる水準で生活をしている▼とりわけ1人親の世帯は5割強が貧困状態とされる。学ぶ希望を奪われる子は少なくない。そして親から子への貧困の連鎖となる。悲しい鎖を断ち切るべく、一つの法律がきのう成立した▼「子どもの貧困対策法」と呼び名は堅いが、親を亡くすなどして実際に苦勞をした学生たちの熱意が実った。集会を開き、デモで訴え、国会で意見を述べた。子どもの将来が生まれ育った環境に左右されない。そんな理念が法にこもる▼具体策はこれからになる。政府が大綱を作って定めるが、ここは造った仏にしっかりと魂を入れてほしい。銀の匙をくわえた世継ぎの多い政界である。想像力を欠かぬよう願いたい▼ものの本によれば、「貧」という字は「貝」を「分」ける意味だという。貝は古代、貴重な財産とされた。そこからの想像だが、富をうまく具合に分配して、貧をなくしていく政治がほしい。可能性への切符を買う貝を、どの子の手にも握らせた。

2013・6・20



# 「子どもの貧困をなくす」民間センター 設立から6年



子どもの貧困対策センター 公益財団法人あすのば 事業概要  
「子どもがセンター」の活動 おかげさまで発足6年

「子どもの貧困対策法」成立から2年を迎えた2015年6月19日に、子どもの貧困対策センター「あすのば」が設立され、2016年4月に公益財団法人として認定。おかげさまで、今年6月に発足から満6年を迎えます。

＜子どもの貧困対策センター あすのば 事業の3本柱＞

「政策提言」

調査・研究による  
データなどに  
基づいた  
政策提言

「支援団体への中間支援」 「子どもたちへの直接支援」

活動の持続・  
発展のため  
支援団体への  
中間支援

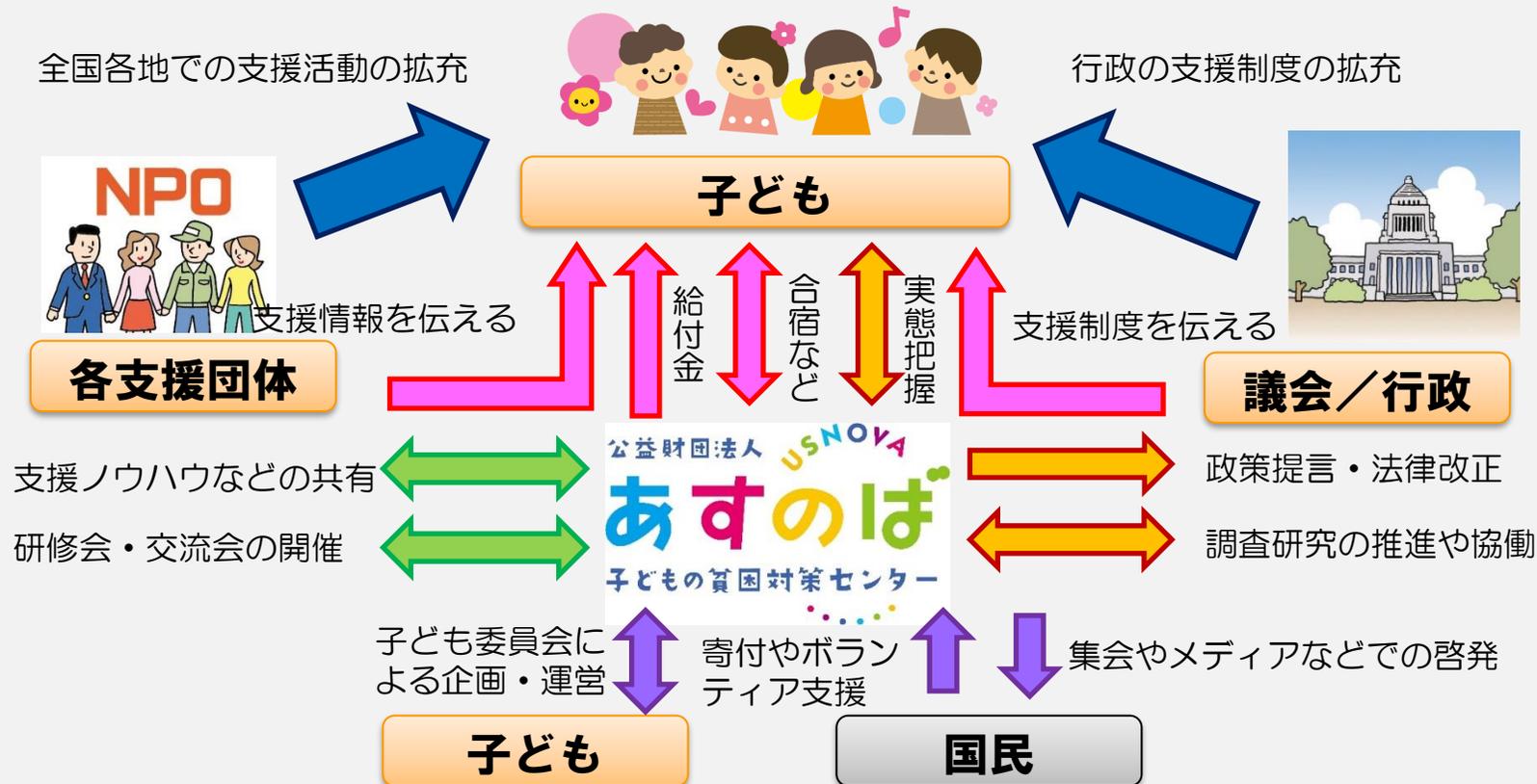
物心両面での  
子どもたちへの  
直接支援



# 子どもの貧困対策センター 公益財団法人 あすのば

子どもの貧困がなくなる社会をつくるため

- ① 調査研究をし、それに基づいた政策提言・法律改正をすすめる
- ② 子どもを支える組織や人を支え、全国各地で充実した支援体制の確立
- ③ 子どもの自立に向け、物心両面での子どもたちへの直接支援



# 日本における「子どもの貧困」の実態

- 日本の18歳未満の子どもの相対的貧困率13.9%(2015年)  
→13.5%(2018年) 7人に1人の割合
  - ひとり親世帯の貧困率は50.8%(2015年)→48.1%(2018年)  
OECD34か国で最悪レベル
  - 母子世帯は、123万世帯、195万人の子ども(2016年)  
1983年に比べ1.7倍に
  - 父子世帯は、19万世帯、28万人の子ども(2016年)  
1983年に比べ1.1倍に
  - ひとり親世帯=142万世帯、223万人の子ども(2016年)  
(厚生労働省「全国ひとり親世帯等調査」)
  - 非正規雇用の割合は、2016年に37.5%  
1985年の16.4%より21ポイントの上昇(総務省「労働力調査」)
  - 外国にルーツをもつ子どもたちの問題
- 
- 子どもの貧困は、本当に解消に向かっているのか?
  - 非正規雇用の拡大とコロナ禍の影響

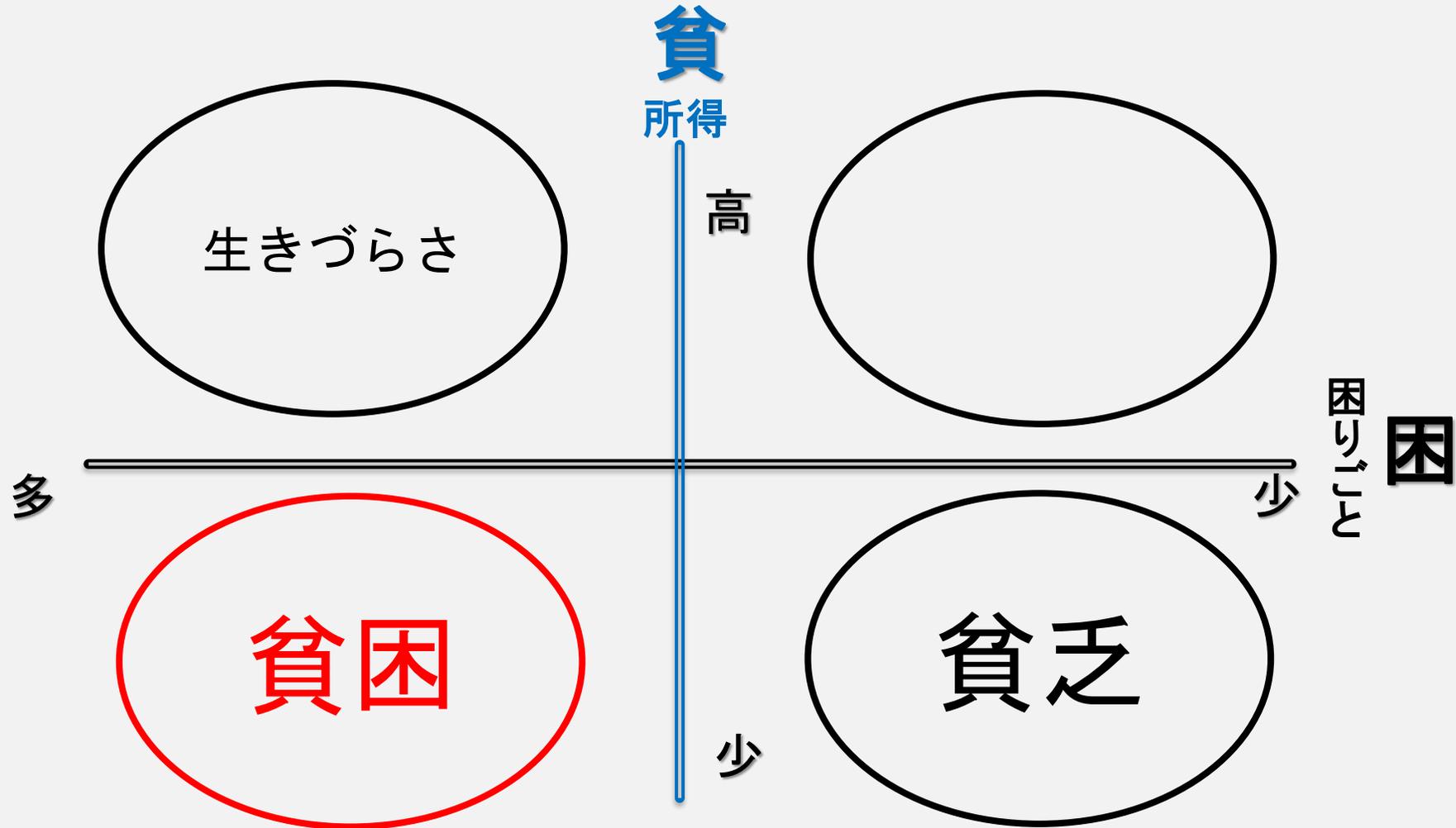


# ひとり親世帯の状況 (2016年厚生労働省『全国ひとり親世帯等調査』)

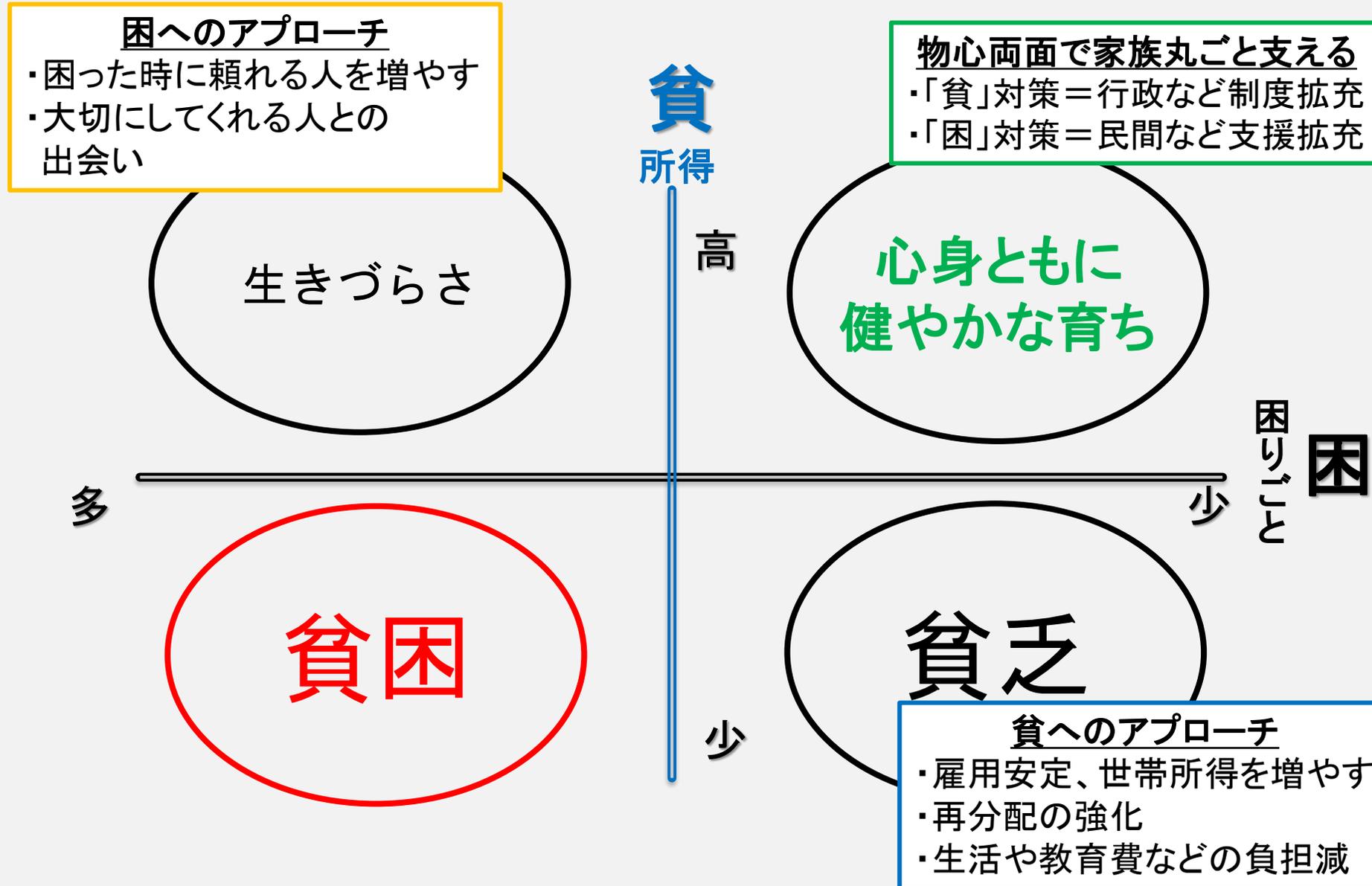
【母子世帯と父子世帯の状況】

	母子世帯	父子世帯
1 世帯数 [推計値]	1 2 3 . 2 万世帯 (1 2 3 . 8 万世帯)	1 8 . 7 万世帯 (2 2 . 3 万世帯)
2 ひとり親世帯になった理由	離婚 7 9 . 5 % ( 8 0 . 8 % ) 死別 8 . 0 % ( 7 . 5 % )	離婚 7 5 . 6 % ( 7 4 . 3 % ) 死別 1 9 . 0 % ( 1 6 . 8 % )
3 就業状況	8 1 . 8 % ( 8 0 . 6 % )	8 5 . 4 % ( 9 1 . 3 % )
就業者のうち 正規の職員・従業員	4 4 . 2 % ( 3 9 . 4 % )	6 8 . 2 % ( 6 7 . 2 % )
うち 自営業	3 . 4 % ( 2 . 6 % )	1 8 . 2 % ( 1 5 . 6 % )
うち パート・アルバイト等	4 3 . 8 % ( 4 7 . 4 % )	6 . 4 % ( 8 . 0 % )
4 平均年間収入 [母又は父自身の収入]	2 4 3 万円 ( 2 2 3 万円)	4 2 0 万円 ( 3 8 0 万円)
5 平均年間就労収入 [母又は父自身の就労収入]	2 0 0 万円 ( 1 8 1 万円)	3 9 8 万円 ( 3 6 0 万円)
6 平均年間収入 [同居親族を含む世帯全員の収入]	3 4 8 万円 ( 2 9 1 万円)	5 7 3 万円 ( 4 5 5 万円)

# 「子どもの貧困」とは？



# 「子どもの貧困」へのアプローチとは？



# あすのば「子どもの生活と声1,500人アンケート調査」(2017年)

## ● 「子どもの生活と声 1,500 人アンケート調査」の概要

### (1) アンケート対象

2016 年度に「あすのば入学・新生活応援給付金」を届けた住民税非課税世帯・生活保護世帯・社会的養護のもとで暮らした経験のある子ども本人(高校・大学生世代)と保護者(社会的養護を除いた小学～大学生世代)

### (2) 対象者数 子ども1,425人、

保護者 1,770 人、合計 3,195人

### (3) アンケート方法 郵送法

### (4) 有効回答数

子ども 547票(回答率 38.4%)

保護者 959 票(回答率 54.1%)

合計 1,506票(回答率 47.1%)

### (5) 調査期間 2017年10月31日から12月18日





# コロナ禍支援 7,950人に3億611万円の給付金

## 【緊急支援給付金 第1弾】

- 昨春の「入学・新生活応援給付金」申込者のうち財源不足から採用見送りとなった**1,300人へ3万円、総額3900万円**の追加給付を計画

## 【緊急支援給付金 第2弾】

- 住民税非課税世帯の高校生世代で、コロナ禍によって家計急変など生活が困難になっている**子ども1,200人へ4万円、総額4800万円**の給付を計画
- 昨年6月、全国から**定員の5倍にあたる5,867人の申込**が殺到
- 緊急支援募金プロジェクトに**21,808人(『通販生活』読者寄付を含む)**から**1億8675万5372円**のご寄付。
- 緊急支援給付金 **4,994人に総額1億8721万円**の給付(第1弾・第2弾)

## 【入学・新生活給付金 第3弾】

- コロナ禍で家計急変した世帯の子どもも給付金対象に追加  
今春、入学・新生活を迎えた**2,956人に総額1億1890万円**を給付



# 子ども・世帯への影響 平時に見えづらかった課題が露呈

## ■コロナ禍でさらに困窮する子どもや保護者の声から(2020年)

- 今春、私立通信制高校に入学したが、母が失職し退学を考えた。中学生の弟に障害があることで、就職先を見つけるのにさらにハンディがある。
- この春、高校を卒業し、「日本文化を外国人観光客に伝える」地元企業の内定が取り消しに。アルバイトも十分できず、家にお金を入れることもできず時間だけが過ぎる。
- 生活面では、アルバイト先がコロナの影響で廃業・休業となり、本日以降の収入面で不安がある。心境としては、「コロナで死ぬか。社会で死ぬか」だと思う。
- 収入が減って学費を捻出するのも厳しくて食事を一食にするなど食費を削って生活しています。
- 給付金もまだ出なくひっ迫しています。学校の通学費も出せないでいます。助けて下さい。
- 今のままでは、子どもが部活ができなくなります。助けて下さい！子どもの夢を壊したくない…。ごめんなさい…。情けない母親です。
- 中学生や大学生には支援策があるが、高校生への支援はまったくなし。学費も止まることなく引き落としが続き、私の収入は減る。子どもたちは家にいるので、公共料金やオンライン授業の通信費もかかり大変困っております。どうか助けてください。

# コロナ禍 給付金受給者581人の声【子ども・若者】

- 母親の仕事もコロナでなくなり、**学校代が払えなかったのが一番ショック**でした。そのあと母親が「目がみえない」と言い出した時は、泣きそうになった。3か月ぐらいで見えるようになりましたが、言葉も出ないくらいありがたい給付金でした。ありがとうございました。(17歳・九州沖縄)
- 私は**祖母と2人家族で、祖母は病気で働けないため、高校生の私が3つバイトを掛け持ちしてなんとか生活**しています。しかし、**コロナ禍でシフトが減ったり営業停止したりで収入が減少**して困っていました。そんな中で**あすのばの給付金を頂けて生活の足しにすることができたのでありがたかったです**。(17歳・中国四国)
- これから先、自分はどうやって生きていくのか、**自分自身で納得できる幸せを掴むことができるのか、漠然とした不安が毎日、頭の中でぐるぐる**しています。(19歳・関東)
- 給付金をもらえたから**新しい体操服を買ってもらえました。お下がりばかりだと黄ばんでいたから恥ずかしかった。新しい体操服が嬉しかったです**。ありがとうございました。(13歳・九州沖縄)
- コロナ禍で**バイトの収入も減り、母も認知症の祖母を抱えて仕事もままならず、大学にどうしても進学**したかった自分は、**バイト代でなんとか進学しよう**とっていました。受験代もなく諦めかけていたところに**あすのばの給付金を頂き、無事に受験もし、合格**しました。母のように家族の介護に追われて仕事もままならない母子家庭のために何かできないかと経営学の道を選びいつか自分で会社を興すことが目標となりました。大学でたくさんのことを学んでいきます。ご支援ありがとうございました。(18歳・関東)



# コロナ禍 給付金受給者581人の声【保護者①】

- あすのばさんには生活が苦しいときに給付金という形で支援いただき、本当に助かりました。私たちには親がなく、弟には不便ばかりかけたと思います。口には出ませんが、親が恋しい時に親がいなくて、友達とかみて寂しい、羨ましいとも思っていたと思います。それでも2人で協力して、何とかここまで来れました。弟も卒業し、いま頑張っていて働いています。喧嘩ばかりの時もありましたが、嬉しかったのは、弟が初バイトの初給料でバッグを買ってくれたことです。グレた時もあり心配しましたが、心優しい人に育ってくれてよかったです。(23歳・北海道東北)
- コロナ禍になってから仕事がなくなり、手当や給付金、日雇い派遣で、その日暮らしをしています。今年の夏休みは、3食食べさせてあげるのが難しく、お米がなくなる不安から、朝昼兼用にしたり、食パン1枚にしたりです。子どもは資格をとるために、将来、専門学校に行きたいと言っていますが、入学金や初期費用が用意できるのか、かなり不安です。無理なら諦めると言っていたけれど、行かせてあげたい。(年齢不記載・中部)
- 頂きました入学準備金から少しだけ、ピザの材料を買いました。生地は小麦粉を適当にこねてトマトソースは90円の缶詰から作り、ペパロニの代わりにダイソーのサラミを使いました。もう1枚はガーリックホワイトソースのピザで、具は冷蔵庫に残っている野菜のかけら(キャベツ、レタス、ブロッコリーの新と玉ねぎ)を使いました。チーズはスライスチーズを使いました。材料費は700円位ですが、普段の食費は1日3人で500円位なので、この日のピザは私たちにとっては宅配ピザのように贅沢で、久しぶりに子どもたちも満腹になりました。本当に本当に感謝しております。(56歳・関東)



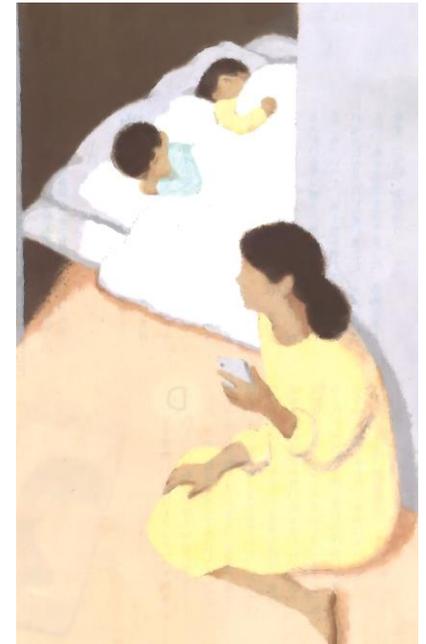
# コロナ禍 給付金受給者581人の声【保護者②】

- パート勤務でコロナ禍の影響をもろに受け、経済的に困っています。先のことを考えると転職したいのですが、下の子が小さく急なお迎えが多いので、夜な夜な求人情報や資格を調べていますが手が出せません。1日1時間でも多く働かないと生きていけないので時間に余裕もありません。頂いた給付金は、まだ買えていなかった子どもの夏服と、破れたり穴が開いていた下のこの着替えや買い換えやオムツ、おしりふきに使いました。あとはご飯やおやつ代に残しておいて、少しずつ大切に使っています。子どもが笑って過ごせていることが唯一の救いです。

(36歳・関東)

- 突然主人を亡くして、哀しくて辛くて。そしてコロナで私のホテルの仕事も減り…そんなどん底のときに、あすのばからの給付金でどんなに心が救われたか。娘と泣きました。世の中あたたかく優しい方がいるんやなあ。ありがたいよなあって。今は少しずつ前を向いて、父ちゃんのことを思いながら頑張っています。本当に本当にありがとうございました。(47歳・関西)

- 双子の小学校入学で給付金をいただきました。ひとり親という事もあり、たくさん我慢をさせていることもあります。入学の学用品もギリギリまで買えないかなと悩んでいた時に、あすのばと出会いました。おかげで必要な物を新品で買ってあげることができました。娘たちもすごく喜んでいました。あすのばの皆様、寄付をしてくださった皆様の「あなたを思っている人がここにいるよ！」というメッセージに涙が止まりませんでした。泣いている私をみて、娘たちも泣いていました。娘たちのお礼の言葉も伝えさせて頂きます。「あすのばさん、みなさん、ありがとうございました！ 小学校は楽しいです。これからも、元気に学校に行きます！ ありがとう」(42歳・関東)



## 子どもの貧困対策法成立8周年 院内集会

# コロナ禍 子ども・若者のいのちと生活・学びを守ろう!

2021年6月21日(月)11時～12時／衆議院第一議員会館多目的ホール

主催「コロナ禍 子ども・若者のいのちと生活・学びを守ろう!」実行委員会

主催者団体 あすのば、アフターケア事業全国ネットワーク・えんじゅ、キッズドア、自殺対策支援センター・ライフリンク、自立生活サポートセンター・もやい、シングルマザーサポート団体全国協議会、セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン、全国こども食堂支援センター・むすびえ、全国子どもの貧困・教育支援団体協議会、豊島子どもWAKUWAKUネットワーク、「なくそう!子どもの貧困」全国ネットワーク、日本若者協議会、入学金納入時期延長を求める学生有志の会（50音順）

共催 子どもの貧困対策推進議員連盟(会長 田村憲久 前厚生労働大臣)

国会議員・各府省からのご発言

子どもの貧困対策推進議員連盟 会長代行 牧原秀樹・衆議院議員

自由民主党 藺浦健太郎 衆議院議員／公明党 古屋範子 衆議院議員／立憲民主党 山井和則 衆議院議員／日本共産党 宮本徹 衆議院議員／国民民主党 伊藤孝恵 参議院議員／社会民主党 福島みずほ 参議院議員

内閣府 飯田剛・政策統括官付参事官／文部科学省 石塚哲朗・男女共同参画共生社会学習・安全課長／厚生労働省 中野孝浩・家庭福祉課長

【報告・見逃し配信はこちら】 <https://www.usnova.org/notice/4790>



# 10/1 超党派議連が田村厚生労働大臣に要望

10月1日午前、子どもの貧困対策推進議員連盟の牧原秀樹会長代行（自民）はじめ超党派の国会議員が田村憲久厚生労働大臣に面会し、「低所得子育て世帯給付金の再支給」など要望書を手渡しました。私と末富芳・日本大学教授が同席しました。

田村大臣は、同議連の会長でもあり、とても深くご理解いただきました。古屋範子議員（公明）、高橋千鶴子議員（共産）、矢田わかこ議員（国民）、寺田静議員（無所属）に同行いただきました。



## 【重点要望項目】

# ■子育て世帯・低所得世帯に向けた継続的・恒常的な現金給付の実施

コロナ禍で大きな影響を受けている子育て世帯を対象とした「低所得子育て世帯生活支援特別給付金」の再給付などコロナ禍の影響が続く限り、中長期にわたる継続した給付を求めます。同時に、低所得世帯の児童手当・児童扶養手当の増額や、児童手当の高校生までの延長など恒常的な支援拡充を求めます（以下の表参照）。

低所得子育て世帯への切れ目のない経済支援～児童手当の加算と高校生世代への延長給付～						
年収目安(※)	0歳～2歳	3歳～小学生		中学生	高校生世代	大学・ 専門学校生
		第1子・第2子	第3子以降			
約270万円以下 (非課税)	¥35,000	¥30,000	¥35,000	¥30,000	¥30,000	高等教育の 無償化制度
約380万円以下	¥25,000	¥20,000	¥25,000	¥20,000	¥20,000	
児童手当	¥15,000	¥10,000	¥15,000	¥10,000	¥10,000	
※両親・子ども2人の場合の年収目安						

また、ひとり親世帯はコロナの感染拡大によりもっとも甚大な影響を受けており、平時からの支援拡充が必要であることから、児童扶養手当の支給額を2倍にしてください。児童扶養手当の全部支給の所得制限を2002年当時の200万円（収入ベース）に引き上げ、一部支給の所得制限を400万円（収入ベース）としてください。さらに、別居中の母子には支援が少ないため困窮することが多く、別居中の母子への支援の在り方を検討してください。児童手当や特別児童扶養手当は同居時には収入が高い親のほうに出ていますが、別居後子どもの同居親に移す運用にバラつきがあるので同居親に支給する国の基準通りに運用してください。

# コロナ禍への対応 現状と今後の課題

- 阪神・淡路大震災や東日本大震災でも、以前から生活基盤の弱かった人々が復旧・復興から取り残されることが少なくなかった。
- さらなる感染拡大が懸念されており、困窮世帯の保護者の雇用や生活が安定するまでには、かなりの時間が必要だと思われる。
- コロナ禍の影響が続く限り、子どもの貧困世帯などへのもれのない現金給付などの支援の必要性が高い。失業者やとくに非正規雇用で減収した人々への十分な雇用対策と収入保障も引き続き重要である。
- 2018年の子どもの貧困率は、13.5%で3年前より少し改善されたが、次の調査年である今年の貧困率は、十分な対策をとらないと大きく悪化するのではないかと危惧している。
- 「社会的距離」という言葉の弊害が、困難を抱える人々をより苦しめていないか。「社会」から切り離されてしまい、ますます孤立する危険性が高いのではないか。
- 日本中でこれほど多くの国民が大きな痛みを肌で感じざるを得ないことは、戦後初めてではないか。こうした経験から、困難を抱える人の問題を、「他人ごと」ではなく、「自分ごと」として考え、行動につなげていただけないかと期待している。
- コロナ禍が社会をより分断にすすめるのではなく、包摂や分かち合いこそ大切だという社会を目指したい。

# 貧困・孤立から子ども・若者を守る 今こそ官民協働で！

- 子どもを持つ世帯全体への子育て・教育など**普遍的施策の拡充**
  - もれのない支援 手続きの必要なし スティグマを生まない
  - 大企業の法人税、金融資産課税、保護者の所得に応じた税負担などで財源を確保
- すべての子どもを対象とした子どもの権利を含めた**子ども基本法の早期制定**
- 児童虐待防止・こどもの貧困対策を含む**十分な予算と人をつけた「子ども庁」の設置**
- 生まれる前から社会に巣立つまでの**さまざまな公的支援の大幅拡充**
- 「貧」対策＝**住民税非課税の高校入学5万円給付**（山梨県）  
**通学費の減免**（川崎市・沖縄県）、**給食の無償**（大阪市・兵庫県明石市）、  
**夏休みの給食の学童提供**（埼玉県越谷市・奈良市・東京都八王子市）
- 「困」対策＝「第3の居場所」こども食堂・学習支援・トワイライトステイ  
新しい**「親はなくとも子は育つ」しくみづくり**の推進を
- 「第1の居場所（家庭）」支援→「こども食堂の裏メニュー」（その他の困りごと支援）
- 「第2の居場所（学校）」をプラットフォームに＝教育×福祉×地域×NPOなどなど



# 「入学・新生活応援給付金」申込受付中！【12/17まで】

●申し込み受付期間：11月22日（月）～12月17日（金）

○申し込みできる人

ア) 住民税の所得割が非課税世帯の子ども

イ) 家計急変など、住民税非課税相当となった世帯の子ども

ウ) 生活保護を受けている世帯の子ども

エ) 児童養護施設・里親などのもとで生活していて、2022年4月までに措置解除を予定している子ども

① 保育園・幼稚園の年長クラスの人（小学入学生）

② 小学6年生（中学入学生）

③ 中学3年生（中学卒業生）

④ 高校・高等専門学校の3年生など、来年の春卒業予定者、または来年春に大学（短大含む）、専門学校などに進学を予定している人（高校卒業生等）

○給付金の金額と募集人数

① 小学校入学生 = 30,000円・210人

② 中学校入学生 = 30,000円・340人

③ 中学校卒業生 = 40,000円・470人

④ 高校卒業生等 = 50,000円・580人 合計1,600人



住民税非課税世帯・生活保護受給世帯・家計急変による住民税非課税相当世帯用

あすのば入学・新生活応援給付金-2021年度-

あすのば入学・新生活応援給付金は、2022年4月に入学や新生活を迎える方々を対象に、「あなたのことを想っている人々が『ここにいるよ。』という多くの方々のメッセージとともに給付金をお届けする事業です。給付金は返済不要で、成績も問いません。

申込できる人

ア) 住民税の所得割が非課税世帯の子ども ※①  
イ) 今年(2021年)に入って家計が急変するなど、住民税非課税相当となった世帯の子ども ※②  
ウ) 生活保護受給世帯の子ども ※③  
※① ※② → あすのばホームページのQ&Aに詳しい説明を載せています。必ずご確認ください。  
※③ → この給付金は収入認定にはなりません。申込前に必ず担当のケースワーカーにご連絡ください。

以上のア)～ウ)の人(いずれか1つ該当)で、下記①～④のいずれかに当てはまる人が申し込みます。  
なお、学年はいずれも申し込み時点のものとしします。  
① 保育園・幼稚園の年長クラスの人(小学入学生)  
② 小学6年生(中学入学生)  
③ 中学3年生(中学卒業生)  
④ 高校・高等専門学校の3年生など、来年の春卒業予定者、または1997年4月2日以降に生まれた人で、来年春に大学(短大含む)、専門学校などに進学を予定している人(高校卒業生等)  
※現在大学などに在籍している人は、対象ではありません。  
ア～ウ、および①～④に当てはまらない人が申し込んだ場合、「非該当」となります。

給付金の金額と募集人数

① 小学校入学生 = 30,000円・210人募集 ② 中学校入学生 = 30,000円・340人募集  
③ 中学校卒業生 = 40,000円・470人募集 ④ 高校卒業生等 = 50,000円・580人募集  
合計1,600人

【募集人数は、児童養護施設などで生活している子どもたちの募集との合計人数です。  
また、給付金への寄付額により、変動する場合があります】  
※災害特別給付金＝地震・台風・浸水など、2021年に発生した災害で被災した方は、①～④各10人募集し、1万円を増額します。

申込の受付期間

2021年11月22日(月)～12月17日(金)

※郵送の場合は12月13日(月)消印有効

※必ず、期間内にお申し込みください。締め切り後の受付はできません。



アフターコロナでめざすべき社会は？

社会全体で子育てする社会を！

“US NOVA”つくろう！

子どもの貧困対策センター 公益財団法人 あすのば

〒107-0052 東京都港区赤坂3-21-6河村ビル6F

TEL:03-6277-8199 FAX:03-6277-8519

E-mail:ogawa.k@usnova.org

WEB:www.usnova.org

